

## 教育委員会及び特認・推奨部会合同研修会開催

11月12日(水)午後から合同研修会が開催されました。これには、52名の出席があり、午前は愛知運輸支局、午後は愛知労働基準協会による

- ・愛知労働基準協会で開催する講習会での資格取得について (愛知労働基準協会 池垣教育部長 → →)
- ・エチルベンゼン関係及び特別化学物質関係の労働安全衛生法の一部を改正する法律について、

の11月改正実施の具体的な話があり熱心に耳を傾けておりました。

なお、今回試行的に研修会参加証を発行しました。



## 第3回賛助会員との意見交換会



11月20日(木)にホテルサンルートプラザにおいて、事業委員会主催による「第3回賛助会員との意見交換会」が開催され、組員20名、賛助会員17名の参加がありました。

今回は、予め、ガラス、塗料、部品及び中古部品関係と検討議題を定めて意見を交わされました。

今後とも、知恵を出し合って、愛車協の発展のため、賛助会員及び組員共々で盛り上げていこうと確認しました。

意見交換会の後は、恒例の和気藹々の懇親会が行われて交流を深めました。

## 人材発掘の巻(^o^) 若き一級整備士 (^o^)

西支部の(有)ウメヤ自動車の若き取締役「赤梅寛保」氏は、なんと国家一級自動車整備士であります。

赤梅寛保氏は、中日本自動車短大卒業後に2級ディーゼル整備士を取得し、某ディーラーで6年勤務した後、父親の経営する(有)ウメヤ自動車に再就職しました。

ウメヤ自動車で、2級ガソリン整備士を取得後、平成21年に見事難関突破し一級自動車整備士に合格したのです。

今後とも愛車協からドンドン一級自動車整備士を輩出していきたいものです。

## ☀ 動き出した ☀ 国交省と日車協との勉強会 ☀

遂に「第1回車体整備事業の高度化・活性化に向けた勉強会」が、11月26日に国交省会議室において、開催されました。

出席者は、国交省自動車局江坂整備課長含め4名、日車協から馬場会長各副会長含め7名、オブザーバーとして補修溶接協会から吉野会長含め4名です。検討項目の車体整備技術の高度化等、人材育成のあり方、安全・安心な車体整備の確保及び車体認証制度の検討の進め方等の検討結果を平成27年5月に取りまとめることを目途に勉強会がスタートしました。

## ☀ 愛知運輸支局・検査法人からのお知らせ ☀

年末年始の業務取扱いを下記のとおりとする、との通知がありましたのでお知らせします。  
なお、年末は業務の集中が予想されるので、各種申請手続きは早めに済ませていただきますようお願いいたします、との協力要請がありました。

\* 年末 → → → 平成26年12月26日（金）まで平常業務

\* 年始 → → → 平成27年 1月 5日（月）から平常業務

## ☀ 愛知労働局からのお知らせ ☀

愛知労働局から事業場における自主的な職場の総点検の実施と、労働災害防止対策の取り組みを行う「職場の年末安全衛生推進運動」を12月1日から12月31日までの間、実施されますので、労働災害防止に努めていただくようお願いいたします。

## 知っ得情報

今月は、「労働保険について」です。

労働保険とは、「労災保険」と「雇用保険」を総称したもので、労働者を一人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

労働保険は、労働災害や失業等が発生した際に、保険給付等を行うことにより労働者の福祉の向上・増進を図るための、政府が管轄する強制保険制度です。

事業主が加入手続きを行わない間に労災事故が発生した場合、遡って保険料を徴収する他、労災給付額の100%又は40%を徴収することになります。

## ☀ 事務局からのお知らせ ☀

\* 27年度理事長立候補に関するお知らせを全組合員へ発出しましたので、立候補を希望する方は、理事に就任していることが必要であるため、所属支部と相談のうえ、次期理事候補者に推薦するとの支部長名の推薦状（原本）を添えて平成27年1月19日（月）までに事務局へ申し出ていただきますようお願いいたします。

\* 27年度車体整備士及び2級シャシ整備士養成講習会の開催についてのアンケートを実施していますので、よろしくお願いいたします。

\* 本年もお世話になり、ありがとうございました。

事務局の年末、年始の業務の取扱いを例年通り日車協連に合わせ次の通りとしましたのでよろしくお願いいたします。

・ 年末 → → 26年12月26日（金）まで平常業務

・ 年始 → → 27年 1月 5日（月）から平常業務

（名古屋北部方面を写す → → → → ）



## 年末のつぶやき (^o^)

人間は、記憶の7割は忘れる動物だそうです。もし、思い出を100%記憶していたら、辛い・嫌な・思い出したくない記憶で頭中が一杯となり気が狂ってしまうそうです。

記憶に残る3割を良い思い出だけ残す人と辛い思い出しか残せない人とは、随分生き方に違いが出てくるでしょう。どうせなら、楽しい思い出を記憶に残すように努めたいものですね。

この1年の辛かった思い出を吹き飛ばし、来年新たな素晴らしい軌跡を残せる1年になりますように祈念し、来年もよろしくお願いいたします。 (^o^) \_(. \_.)\_ (y. m)